

小関 奈々

市野 杏奈

地域課題の解決にチャレンジ！ デジタル技術の活用で もっと便利に、快適に！



私たちは、茨城キリスト教大学経営学科の学生です。
少子高齢化、人口減少が大きな地域課題となっている今日、地域経済や生産性を維持・向上させていくためには、AIやロボットなどの未来技術の活用が有効という記事をよく目にします。

今回は、その未来技術を活用し、地域課題の一つとなっている人手不足の解消に向けて、市内で唯一、茨城県と市から未来技術実装事業の採択を受け、ロボットの開発やウェアラブル端末を活用した健康管理などの調査研究に取り組んだ実績がある株式会社ユニキャストを取材しました。

ガクレポ

ガクレポは、若い世代に市報をもっと身近に感じてもらうため、市の取組や地域課題の解決に向けて取り組む企業・関係団体などを大学生が取材し、自ら紙面の作成を行う特集記事です。今回は、茨城キリスト教大学の学生が作成しました。

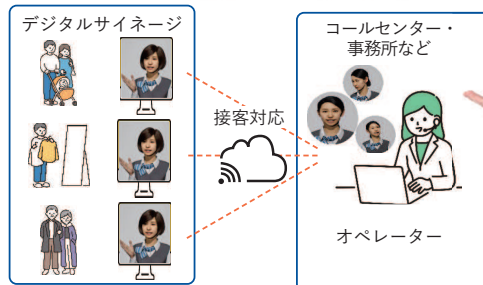
問合せ 広報戦略課 ☎内線 293

人材不足解消に役立つ！

未来技術ってどんなもの？

technology
01

デジタルヒューマン



まるで本物の人が対応しているみたい！まばたきまで再現されていました。離れた場所にある複数の受付業務の合理化に役に立ちそうです。

1人のオペレーターで多くの箇所の受付業務を担当。個室と組み合わせることで、匿名性の高いカウンセリングも実現



technology
02

AI ロボット



とてもかわいくて、気持ちよく受付を行うことができました。マニュアル化された簡単な受付業務に最適ですね。

受付業務の人材削減に！AIロボットからスマホに通知が届きます。



自動走行ロボット



マッピングされた座標をベースにさまざまなものを正確に配送するサービス

動いている姿がとても未来的。この頃、飲食店でよく見かけますが、いろんな場面で使えそうです。

◀ 来客対応や配膳、集荷、配送など、さまざまなニーズに対応。あいさつやサービス案内などのコミュニケーションにも対応しています。



ズバリ！聞いてみた！

人とロボットが共創する未来



少子高齢化や人口減少などによって、労働力不足が加速していくと予想されますが、AIやロボットなどの技術をどのように活用していくことで解消できると思いますか？



「人とロボットが共創する未来をつくる」という理念のもと、各種事業に取り組んでいます。「人がやりたい仕事、やるべき仕事」と「ロボットに任せる仕事」を分け、互いの得意分野を生かしながら共存していくことでよりよい未来になっていくと考えています。

AIやロボットには人でなくてもできることを任せべきだと思っています。仕事、サービスのすべてをAIやロボットに託すのではなく、ロボットが人間と人間をつなぐためのものになれるように、AIやロボットにサポートをしてもらいながらサービス向上を図っていくことを提案しています。



篠木さん



三ツ堀社長



荒木田さん



成澤さん

取材を終えて

編集後記

今回の取材で、さまざまな未来技術を体験することができました。

私たちは、AI・ロボットの浸透によって人とのつながりや仕事が減少していくことを心配していましたが、お互いが得意なところを尊重して共創できる社会になれば、私たち人間がより働きやすく、生きやすい社会になると同時に、人手不足の解消にも役に立つと希望を抱けました。

ここ日立市で、たくさんの企業が未来技術の開発などに取り組むことで、より多くの地域課題の解決につながっていくと感じました。



取材協力
株式会社ユニキャスト
住所 大みか町 3-1-12